

第40回日本ストーマ連絡協議会 議事録

日時：平成30年11月27日(火)17:30-18:30

場所：アルケア株式会社 会議室

進行：ストーマ用品セーフティーネット連絡会 当番幹事 アルケア株式会社

議事：ストーマ用品セーフティーネット連絡会 副当番幹事 コンバテック ジャパン株式会社

参加：JSSCR-穴澤 貞夫、前田 耕太郎、幸田 圭史、大村 裕子 ※敬称略

JOA-谷口 良雄、須田 紗代子

OAS-福元真一(進行)、田代 浩一(議事)

合計8名

※配布資料：JSSCR 「平成30年度第1回災害対策委員会議事録」(添付①)

「災害対策委員会企画」(添付②)

JOA 「JOA創立50周年記念事業の件」理事会資料より(添付③)

OAS 「直近の災害支援報告」(添付④)

1) JSSCRより

大村：9/17(月)に平成30年度第1回災害対策委員会を開催した。(添付①参照)

北海道ブロック代表の佐々木一晃先生がご逝去されたため、後任が決まるまで札幌医科大学第1外科の西館敏彦先生が代理として災害状況などをまとめて頂いた。

全国13ブロックの副代表が決まっていないところが多く、代表だけだとしても何かあった場合対応が、遅れてしまう為、早急に決めておく必要があると感じており、日本創傷・オストミー・失禁管理学会(JWOCM)や日本褥瘡学会とも連携していく方向で考えている。

第36回JSSCRの災害対策企画は、西口会長からの依頼もあり、7月西日本豪雨時の岡山県の災害対策がとともうまくいったケースとして他の地域でも参考として頂くべく、今回取り上げることにした。

内容としては、吉田松子WOCN(倉敷中央病院)・青井美由紀WOCN(岡山大学)・丹羽遥氏(西日本メディカルリンク)の3名に発表頂き、北海道胆振東部地震に関する報告を西館敏彦先生に発表頂く予定である。(添付②参照)

2) JOAより

谷口：創立50周年記念事業を2019年6月9日(日)に開催するが、前日6月8日に全国大会も行う予定である。

日本オストミー協会は1969年7月5日に「互療会」として25名で横浜市大で発足し、来年で結成50年を迎える。

式典への参加・祝辞の依頼は内閣府・厚生労働大臣・東京都知事などをはじめ、JSSCR・JWOCM学会理事長や先生方に依頼をかける。

50年史の編纂、記念冊子の配布も予定している。11/30(金)に会合を予定しており、もう少し詳細が固まってくると思われる。(添付③参照)

3) OASより

福元：本年も災害が多く発生した年であった。平成30年7月豪雨による災害にかかる災害救助法は第18報まで出たが、8月豪雨は山形に第一報が出たのみで、OASからの装具無償提供対象者は居なかった。北海道胆振東部地震も、第一報が出たのみで、OASからの装具無償提供対象者はアルケア社が支援した1名のみであった。(添付④参照)

各災害救助法が発令する都度に、OAS会員会社やJSSCR大村委員長と連絡を取り、しかるべき対応を講じていった。冬場の時期は例年雪の災害が想定されるため、都度に災害救助法発令情報収集に努めていく。

大村：7月の西日本豪雨対応は、岡島先生を中心とした組織・連絡網を構築できているため、いい結果に繋がったものと思われ、他ブロックの参考としてもらいたい。

JSSCRで発行している災害対策リーフレットの在庫がまだかなりの量があるので広く活用頂きたい。

※次回開催日、2019年3月26日(火)17:30アルケア社で開催。

以上

平成 30 年度第 1 回災害対策委員会議事録

日時：平成 30 年 9 月 17 日（月） 12：50～14：00

場所：TKP 品川カンファレンスセンター6 階 J 会議室

出席：大村裕子、青木和恵、赤木由人、中村利夫、舟山裕士、靱山こずえ、尾崎麻依子

欠席：臼杵尚志、熊谷英子、柴崎真澄、西口幸雄、藤田秀人（敬称略）

配布資料：1. 議事予定 2. 平成 30 年の各地災害に関する情報について
3. 中国四国地区大雨災害に関して（臼杵委員提供）

1. 北海道ブロック代表について

- ・北海道ブロック代表の佐々木一晃先生がご逝去された後、後任が決定するまでの代理として札幌医大の西舘敏彦先生が窓口となり災害被害状況などをまとめていただいている事が大村委員長より報告された。

2. 災害対策活動について<資料 2. 3>

1) 大阪北部地震

- ・13 市町に災害対策援助法が適用されたが、地域対応ができており会員、販売店、JOA へ支援要請はなかった。

2) 中国四国地区大雨災害

- ・災害発生 1 週間後に OAS との会議が開かれたが、その頃には既にライフラインが復旧したため支援物資は必要とならなかった。また、OAS も販売店の状況把握ができていた。個別対応が可能であったため学会への支援要請はなかった。
- ・中国四国ブロックは、ブロック代表および県代表が決定されていたこともあり迅速にメールでの報告が入ってきた。
- ・高知、松山の NHK を通じて「広報依頼」をしたところ「告知依頼」とフォームの変更を指示された。

3) 北海道胆振東部地震

- ・元北海道認定看護師研修センター専任教員の遠藤弘子さんを中心に情報収集をしていただけた。各ブロックには連絡網の中心となる存在が必要と思われた。

以上が、大村委員長より報告された。

4) 広報活動について

- ・災害発生後は JSSCR ホームページに、通常の手続きより早く掲載したことが青木委員より報告された。現在ホームページ上トップメニュー『災害対策』の中に災害に関する情報が掲載されているが、最新の災害の情報をトップ画面に掲載する必要があるか青木委員より確認され、支援物資提供が必要となった場合に検討する方針となった。またホームページ掲載のタイミングについては、災害対策援助法の適応となり、

県代表に必要性を確認してから行うことが大村委員長より確認された。

- ・ダウンロード用災害対策リーフレットに掲載されている事務局について、学会事務局が株式会社 TKP メディカルリンクに変更になったため改定したことが報告された。印刷済みの配布用リーフレットはそのまま使用することが確認された。

3. 災害対策ブロック

1) ブロック連絡網について

- ・雛形に合わせた内容の追加修正はブロック代表を通じて依頼しており、現在のところ東北ブロック、北関東ブロック、四国ブロックが完成している。連絡が取れていないブロックもあるため、今後も尾崎委員が確認をすすめる。また今回提出後の内容変更については、県代表から尾崎委員まで（Cc でブロック代表）直接連絡をもらうよう依頼したことが報告された。
- ・ブロック副代表（皮膚・排泄ケア認定看護師）の選出方法について委員より確認があった。日本創傷・オストミー・失禁管理学会（以下 JWOCM）にも所属されている方が活動はスムーズとなるが、地域代表者が把握できていないため、連携の調整をしながら選出をすすめていく方針とした。

2) 今後の課題

- ・これまで関連学会との連携が検討されてきたが、今後は両学会理事長、災害対策関連の責任者と協議の場をもつ方向である。また日本褥瘡学会とも連携を進めていくことが報告された。

4. 第 36 回 JSSCR 災害対策企画

- ・災害のあったブロック（北海道、中国四国、関西）より今回の報告をしていただく事が提案された。また取り組みの進んでいる藤枝市について中村委員より報告していただくよう提案され承諾された。
- ・今後災害対策企画での司会進行を当番制にすることが提案され、第 36 回は赤木委員と靱山委員が担当することが決定した。

5. その他

- ・地域活動を充実させるために、ブロック代表会議にはブロック代表・副代表だけでなく都道府県代表にも出席してもらうようにアナウンスしていく事が確認された。

災害対策委員会企画

仮題「平成 30 年度の災害対策活動、ブロックの対応」

平成 31 年 2 月 23 日（土）8 時 45 分から 9 時半

司会：中村利夫（藤枝総合病院）、靱山こずえ（靱山クリニック）

西日本豪雨災害時における「岡山県ストーマ保有者災害対策の会」介在拠点病院の活動

吉田 松子（倉敷中央病院）

西日本豪雨災害時における「岡山県のストーマ保有者災害対策の会」事務局からの報告

青井 美由紀（岡山大学病院 看護部）

西日本豪雨災害時における「岡山県のストーマ保有者災害対策の会」代表販売店からの報告

丹羽 遥（西日本メディカルリンク株式会社）

北海道胆振東部地震の状況報告と課題

西舘 敏彦（札幌医科大学消化器・総合、乳腺・内分泌外科）

「公益社団法人 日本オストミー協会・創立 50 周年記念事業の件」

1. はじめに

公益社団法人日本オストミー協会（以下 JOA と略す）は、1969 年 7 月 5 日に横浜市立大学病院の一室で、25 名が参加して開催された「互療会」設立総会をもって発足以来、来年（2019 年）で創立 50 周年を迎えます。

JOA ではこの創立 50 周年を全国の会員諸氏と共にお祝いし、ご支援いただいた行政や医療等の関係する皆様をお招きして、これまでの先達の活動を振り返り、更なる発展を期すために、以下の創立 50 周年記念事業を実施する。

2. 創立 50 周年記念事業の概要

（1）創立 50 周年記念イベントの開催

- ・開催日程 2019 年 6 月 9 日（日）、9 時 30 分～15 時
- ・場 所 オリピック記念青少年総合センター（国際交流棟、国際会議室・レセプションホール）
- ・内 容 ①オープニング
②記念式典：お世話になった行政、医療、関連団体・関係者の方のご臨席を賜り、御祝辞を頂戴し、その後功労者への表彰を行う
③記念講演：演者 未定（11 月 30 日決定予定）
演題 未定
④レセプション：全国の会員とお世話になった医療、関連団体・関係者の方々と懇親のための小宴を開催する。
尚、レセプションの場では、アトラクションとして雅楽演奏を行う。

（2）第 31 回全国大会の開催

- ・開催日程 2019 年 6 月 8 日（土）、13 時～17 時
- ・場 所 オリピック記念青少年総合センター（センター棟、セミナールーム、研修室）
- ・内 容 ①支部長会議 or 交流会（1.5 時間）
交流会は 50 周年記念に相応しいテーマで実施
②第 31 回定時社員総会（1 時間）

（3）記念誌の発行

- ・公益社団法人五十年誌 互療会発足から 50 年の JOA の歩みや、行政・医療者・装具メーカーからの投稿記事、並びに思い出の写真・各種 DATA の記事を掲載。支部や関係先に配布し、希望者には有償配布（300 部）
- ・記念冊子 記念イベント参加者記念品として、互療会以来の本部会報記事を抜粋した冊子で、当時の先達の活動や苦労を振り返る（300 部）

（4）創立 50 周年記念募金活動

- ・創立 50 周年記念事業実施のための募金活動を行う（詳細は「公益社団法人日本オストミー協会 創立 50 周年記念募金趣意書」による）

3. 公益社団法人 日本オストミー協会・創立 50 周年記念事業収支予算

単位：千円

		記念イベント・全国大会	記念誌	計	備考
収入	補助金	300		300	東京都
	広告料		1,000	1,000	五十年史広告料
	募金	1,000		1,000	法人、個人
	自己資本	760	1,100	2,130	
	計	2,060	2,100	4,160	
支出	行事費	170		170	
	旅費交通費	180		180	
	会議費	1,300		1,300	会議室、付帯等
	通信費	50	100	150	
	印刷費	100	2,000	2,100	
	謝金	150		150	アトラクション
	雑費	110		110	東京支部
	計	2,060	2,100	4,160	
収支差額		0	0	0	

注；自己資本 2,13 千円については、31 年度会計にて処理明確化する。

以上

参考1：創立50周年記念イベント補足

1. 後援依頼

内閣府、厚生労働省、東京都、社会福祉法人日本身体障害者団体連合会、
日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会、
一般社団法人 日本創傷・オストミー・失禁管理学会

2. 式典臨席依頼

内閣府（障害者施策担当大臣）、厚生労働大臣*、東京都知事*、
社会福祉法人日本身体障害者団体連合会・会長*、
日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会・理事長、
一般社団法人 日本創傷・オストミー・失禁管理学会・理事長
公益社団法人日本オストミー協会顧問医会代表（進藤 勝久先生）、
公益社団法人日本オストミー協会顧問医会東京支部顧問医（古嶋 薫先生）
公益社団法人日本オストミー協会顧問医会東京支部顧問医（大石 崇先生）
公益社団法人日本オストミー協会顧問医会東京支部顧問医（間遠 一成先生）
注：*印の方には御祝辞をお願いする。

3. レセプション御招待者

日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会・理事長、
一般社団法人 日本創傷・オストミー・失禁管理学会・理事長
公益社団法人日本オストミー協会顧問医会代表（進藤 勝久先生）、
公益社団法人日本オストミー協会顧問医会東京支部顧問医（古嶋 薫先生）
公益社団法人日本オストミー協会顧問医会東京支部顧問医（大石 崇先生）
公益社団法人日本オストミー協会顧問医会東京支部顧問医（間遠 一成先生）

4. 創立50周年記念イベント・第31回全国大会開催プログラム 次ページ御参照

参考2：記念誌発行補足

1. 五十年史・記念冊子の掲載内容

添付の目次御参照（サイズはB5、五十年史はカバー付）

2. 配布について

五十年史：各支部に2部、学会等の関係団体に1部配布

更に、広告掲載企業、高額寄付者には1冊を無償贈呈

希望者には有償配布（一般；3,000円、会員；2,000円）

記念冊子：創立50周年記念イベントと第31回全国大会参加者（受付を済ませた方）への
記念品として配布

3. 五十年史の広告掲載について

五十年史には賛助会員を対象に、下記料金にて広告掲載を募る

広告掲載料金：前頁（80千円）、半頁（50千円）、1/4頁（30千円）

4. その他

五十年史への各項目投稿については、本部事務局から依頼

創立 50 周年記念イベント・第 31 回全国大会開催プログラム

	第1日(6月8日)				第2日(6月9日)			
	A	B	C	D	E	F		
9:00					受付(30分、9時30分開始)			
10:00					オープニング(30分)		式典 (60分) <ul style="list-style-type: none"> *開催地支部長挨拶 *会長挨拶 *来賓祝辞/来賓紹介 *感謝状贈呈・表彰状贈 	装具展示 支部活動 パネル 展示 (国際交流 棟・第1ミー ティング ルーム)
11:00					記念講演(60分)			
12:00					休憩・移動(30分)			
13:00					受付(30分、12時30分～)			
14:00	支部長会議 (90分、セミ ナールーム)	交流会 (90分、研修 室)	20/40交流会 (90分、研修 室)	装具展示 支部活動 パネル 展示 (国際交流 棟・第1ミー ティング ルーム)				
15:00	代議員受付(30分)							
16:00	第31回定時社員総会(60分)							
17:00	次期開催地挨拶・協会挨拶		臨時理事会					

目 次

頁

1. ごあいさつ
2. 目次
3. 写真でたどる協会のあゆみ
4. 祝辞（協会設立五十年によせて）
 - 4.1 内閣府
 - 4.2 厚労省
 - 4.3 東京都
 - 4.4 幸田圭史（日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会理事長）
 - 4.5 田中秀子（一般社団法人日本創傷・オストミー・失禁管理学会理事長）
 - 4.6 OAS（ストーマ用品セーフティネット連絡会代表）
 - 4.7 阿部一彦（社会福祉法人日本身体障害者団体連合会会長）
 - 4.8 進藤勝久（JOA 顧問医会代表）
 - 4.9 Mr. Richard McNair（Asia and South Pacific Ostomy Association President）
5. 互療会・日本オストミー協会と私
（寄稿者人選中、11月30日決定予定）
6. 総説 協会五十年のあゆみ
 - 6.1 互療会創設から30年の歩み（昭和44年～平成12年）
 - 6.2 オストメイトの交流と福祉の前進（平成13年～平成22年）
 - 6.3 公益社団法人への移行と更なる活動（平成23年～平成30年）
7. 会員のプロフィール
8. 分野別
 - 8.1 組織の変遷
 - 8.2 会員増強活動
 - 8.3 若い会員（にいまるよんまる）の活動
 - 8.4 障害者権利条約とオストメイトへの差別解消
 - 8.5 オストメイトの福祉増進
 - 8.6 調査研究事業
 - 8.7 オストミービジター・ピアサポートの活動
 - 8.8 国際活動
 - 8.9 交通バリアフリー化を目指して オストメイトトイレ設備のあゆみ
 - 8.10 災害と対策
9. ストーマを取り巻く技術の発展
 - 9.1 オストメイトのQOL増進活動の五十年
 - 9.2 消化器系ストーマ造設医療の五十年
 - 9.3 泌尿器系ストーマ造設医療の五十年

9.4 ストーマケア看護の五十年

9.5. ストーマ装具製造技術の五十年

10. 支部一覧

11. 支部活動一覧

12. 年表

13. 年次総会実績・講演演題

14. 資料

14.1 公益社団法人日本オストミー協会定款

14.2 歴代役員一覧

14.3 全国オストメイト人口と会員数の推移

14.4 賛助会員名簿

14.5 ストーマ装具給付状況（平成 22 年及び 28 年調査）

14.6 IOA オストメイト権利憲章

15. 編集後記

広告

奥付

第 40 回日本ストーマ連絡協議会

直近の災害支援報告

2018/11/27 OAS

【平成 30 年 8 月豪雨】

- ・ 豪雨発生日 :2018/8/31
- ・ 災害救助法発令:2018/9/1(第 1 報) ※追加発令なし
- ・ 山形県下 1 市 3 町 3 村に災害救助法を適用
- ・ 当該地区販売店 2 社 5 支店一被害無く通常営業可能を確認
- ・ 被災者への支援:各社無し

【平成 30 年胆振東部地震】

- ・ 地震発生日 :2018/9/6
- ・ 災害救助法発令:2018/9/6(第 1 報) ※追加発令なし
- ・ 北海道内 179 市町村に災害救助法を適用
- ・ 当該地区販売店:3 社 13 支店一被害無く通常営業可能を確認
- ・ 流通混乱影響あり
- ・ 被災者への支援:アルケア社のみ 1 名 1 箱提供

以上